|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 総合 | 第１学年 | 呉市立広南中学校 | 指導者　第１学年部 |

**単元名**

**本単元で育成する資質・能力**

**知識・技能　情報収集・判断　思考・表現　挑戦・探究　責任・使命　協力・協働　感謝・貢献**

**「伝統文化を受け継ごう　～落語に挑戦！～」**

～**挑戦問題**　「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！」～

」～

**１　単元で目指す学びの姿**

**日本の伝統文化である古典落語の価値を理解し，その習得・活用を通して，表現力を高めるとともに，人を楽しませる新しい自分づくりに挑戦する姿**

**挑戦する**

落語の習得を通して身に付けた表現力を活用して，それぞれに与えられた発表の場に応じた工夫をすることで，たくさんの人を笑顔にすることに挑戦する。

**志を抱く**

　日本の伝統文化である古典落語に取組む地域や先輩の姿に出合うことで，落語の習得・活用を通して，人を楽しませることのできる新しい自分づくりへむけて目標を定める。

**準備をする**

　落語の稽古に切磋琢磨して取組み，落語を習得することを通して，お互いの表現力を高めあい，その成果を活用した発表を考え，協働して準備をする。

**２　単元設定の理由**

　　１学期には「魅力的な生き方探し」の単元で，ビブリオトークに取り組み，人生の先輩たちの生き方を知り，それを伝え合う活動において，本から得た知識や自分の考えを原稿やフリップにまとめて，表現する機会をもった。その中で，自分の学んだことをクイズやフリップの工夫によって，相手を楽しませる工夫も生まれてきた。また，単元後に人前で表現すること，伝えることの難しさを感じたり，もっと分かりやすく伝える力をのばしたいという感想が見られた。本学園では，小中一貫教育をすすめる中で，第一学年（７年生）を中期のしめくくりと位置づけている。そのしめくくりとして，表現力をもう一段高めるために，本単元を設定した。

　　表現力を高める上で，日本の伝統芸能である落語に挑戦することは，日本の伝統文化を理解するとともに，軽妙な語り口で，登場人物を生き生きと表現する役割演技，また，同時に，視線，扇子と手ぬぐいのみを使った所作など非言語によるコミュニケーション技術を学ぶ上で，有効な題材と考えている。ちなみに，この時期に合わせ，国語科では「さんちき」を扱い，物語の登場人物像の表現を手がかりに読み取り，それを生かした表現を行う学習を行う。その学習の成果を活用させる場面としても有効であると考える。また，３学期に音楽で尺八について学んだり，国語では古典の世界や古典作品に触れる機会を持ったりと，他教科でも日本の伝統芸能を学ぶ予定である。

しかしながら，本単元の挑戦問題である落語に挑戦することは簡単なことではない。多くの生徒は「やらされ感」を最初，感じることが予想される。その気持ちを，生き生きと落語を演じる先輩の姿，また「笑い」「人を楽しませる」ことの価値に気づくこと，稽古を通して友達との切磋琢磨を行うことで，人を楽しませることのできる自分への成長感を得る中で，少しずつ，主体性を引き出していく指導が重要である。

ゴールとして，習得した落語を，日頃からお世話になっている方々へ感謝の気持ちも込め，実際に家族・友人・地域の人などの前で披露して，楽しんでもらえる体験を仕組むことで，表現活動の醍醐味を味わわせたい。そのことで，後期の様々な表現活動へ主体的に取組むさらなる挑戦心を育むことができると考える。

演目の選択については，1話を５～１０分程度の内容におさめた「えほん寄席」（小学館）から，指導者として迎えたジャンボ衣笠さん（広島県で活躍されている落語家）と協議の上，生徒の発達段階を踏まえるとともに，非言語活動と言語活動，両面で教育効果が期待できそうなものを選んだ。

**３　単元目標（学習対象・学習事項）**

日本の古典芸能「落語」の習得・活用・実践を通して，表現力を高め，いろいろな方法で人を楽しませることのできる自分づくりに挑戦する。

**４　学習期間**

第１学年　７月～10月上旬

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  | 4h | 6h | 9h | 7h |  |  |  |  |  |

**５　学ぶ姿を見取るため生徒と共有する資質・能力ルーブリック**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **資質・能力** | **評価** | **評価基準** | |
| **知識・**  **技能** | | **落語に係る**  **知識・技能** | S | 落語を披露して，落語の楽しさや魅力を伝えることができる。 | |
| A | 落語の細かい動作や話し方のコツも覚えることができる。 | |
| Ｂ | 落語を覚えることができる。 | |
| Ｃ | 落語を覚えることができない。 | |
| **横断的・総合的な**  **問題解決の能力** | | **情報収集**  **判断** | S | 落語を見たり聞いたりして，落語に対する見方・考え方を広げ深めることができる。 | |
| A | 落語を見たり聞いたりして，笑いのポイントを選び出すことができる。 | |
| Ｂ | 落語を見たり聞いたりして，笑いのポイントを見付けることができる。 | |
| Ｃ | 落語を見たり聞いたりして，笑いのポイントを見付けることができない。 | |
| **思考**  **表現** | S | しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにし，工夫を加えて表現できる。 | |
| A | しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。 | |
| Ｂ | 笑いのポイントを真似することができる。 | |
| Ｃ | 笑いのポイントを表現できない。 | |
| **実社会における横断的・総合的な問題解決に取組む態度** | **学びに向かう力・人間性** | **挑戦**  **探究** | S | | 落語を学ぶことを通して，人を楽しませる新しい自分を創り出すことができる。 |
| A | | 落語を覚えるために，見通しを持って粘り強く学び続けることができる。 |
| Ｂ | | 落語を覚えるために，最後まで学び続けようと努力できる。 |
| Ｃ | | 落語を覚えるために，努力をすることができない。 |
| **責任**  **使命** | S | | 発表に向け，自分に与えられた役割を考え，責任を果たすことができる。 |
| A | | 発表に向け，自分に与えられた役割を考え，するべきことを行うことができる。 |
| Ｂ | | 発表に向け，自分に与えられた役割を理解し，果たそうと努力することができる。 |
| Ｃ | | 発表の場で自分に与えられた役割を果たそうと努力することができない。 |
| **協力**  **協働** | S | | お互いの落語を見せ合い，アドバイスしあうことで，それぞれの表現力を高めることができる。 |
| A | | お互いの落語を見せ合い，アドバイスしあうことができる。 |
| Ｂ | | お互いの落語を見せ合うことで，技を磨きあう努力することができる。 |
| Ｃ | | 他の人と協力することができない。 |
| **感謝**  **貢献** | S | | 落語を通して，聞いてくれる人を笑顔にすることで絆を深めることができる。 |
| A | | 落語を通して，聞いてくれる人を笑顔にできる。 |
| Ｂ | | 落語を通して，聞いてくれる人を笑顔にしたいと努力することができる。 |
| Ｃ | | 落語を通して，聞いてくれる人を笑顔にしたいと思うことができない。 |

**６　本単元の指導計画（総授業時間数　２６時間）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 学習活動 | 時数 | 指導上の留意点・評価の視点・方法 |
| ７  ８  ９  　10 | **STEP １「落語の魅力を知ろう！」**  ・「笑い」にはどんな力があるかを考える。  ・笑福亭鶴笑さんの活動を紹介し，たくさんの人を笑顔にすることの意味や素晴らしさを知る。  **挑戦問題**  **「たくさんの人を笑顔にできる**  **新しい自分づくりに挑戦しよう！」**  ・挑戦問題を提示し，「落語に挑戦！」の単元の流れを知る。  ・ワークシートのルーブリックをみて，この取組で身に付ける資質・能力を理解する。  **課題の設定**  ・「長短」「時そば」「化け物使い」の中から演目を一つ選び，全員がその落語を披露する場があることや，３つのグループに分かれて落語を作り上げていくことを知る。  ・「広南寄席」で落語を通して人を楽しませることのできる地域の方や先輩の姿に出合う中で，古典落語という伝統文化に挑戦する価値に気づく。  **STEP ２「落語の技を学ぼう！」**  **情報収集１**  ・地域の方から直接，落語の基本を教えて頂く。  ・グループに分かれ，協力して文章を暗記する。  ・単調な練習にならないように，毎時間自分の目標を立て，授業の最後に振り返りを行うことで，練習の積み重ねによってだんだんと上達していく実感を持たせる。  ・「上・下」について理解し，登場人物の演じ分けをすることを知る。  ・文章と「上・下」を完璧に暗記し落語家の指導に備える。  ・模範演技や演技指導から，演じ方のポイントを理解する。  ・登場人物の演じ分けをするには，「上・下」以外に具体的にどのような方法があるかを模範演技や演技指導で学びとる。  **整理・分析１**  ・自分の演技指導だけでなく，グループの他のメンバーの指導を見て，自分の演技に取り入れられるところを考える。  ・演技指導を受けた内容を個人の文章や掲示用の文章に記入し，今後の練習で深められるようにする。  **STEP ３「落語の技を磨きあおう！」**  **情報収集２**  ・模範演技や演技指導によって学んだ技を，各グループで技の工夫について話し合ったり，演技を見せ合ったりして，より笑ってもらえる技を磨く。  【時そば】  ・銭を払うときの動作や上・下をつけた細かなやりとりについて指導を受ける。  【化け物使い】  ・的を使って視線の位置を具体手な指導を受ける。  ・台詞を言うとき，主人なら胸を張って偉そうに，奉公人なら背中を丸めながら話すなど，登場人物によって使い分けるよう，指導を受ける。  【長短】  ・扇子を使ったキセルの仕草のときの，煙を上においかけるような視線の動かし方や，大きな口を開けると間が抜けて見えるようになるなど，役づくりで重要なポイントについて具体的な指導を受ける。  **整理・分析２**  ・掲示用の文章にどんどん書きこんでグループで自分たちの落語を深めていく。  ・代表者選出会に向けて練習を積む。  **まとめ・創造・表現Ⅰ**  ・代表者選出会を開催し，文化活動発表会で演じる生徒を選出する。  ・お互いの発表を評価しあい，もっと良いものをつくり上げていこうとする。  ・自分の演技を振り返り自己評価をする。  ・単元のここまでの取り組みの振り返りをする。  **STEP 4「人を楽しませる新しい自分になって**  **広南劇場で貢献しよう！」**  **まとめ・創造・表現Ⅱ**  ・代表者はさらに練習を積み，より楽しい落語になるように技を練る。  ・代表者以外の生徒は広南劇場を笑いの力で盛り上げるための幕間の出し物を考える。  ・幕間の出し物用に３つのグループに分かれ，それぞれ工夫を凝らした出し物を考え，小道具など必要なものを準備し，練習する。（手品・カップソング・もくりんダンス等）  **STEP 5「出前落語に挑戦しよう！」**  **実行**  ・広南劇場（3名）・ふれあいサロン長浜（3名）・ふれあいサロン小坪（3名）・小学校（8名）でそれぞれ落語を披露する。  ・各場にふさわしい高座名を与え，落語の始めの言葉を考えさせる。  ・各場において，演者以外は，めくり・CD・小道具などの役割分担をしてそれぞれの会が成功するようにサポートする。  ・各場を盛り上げるために拍手・掛け声など工夫する。  **振り返り**  ・各自，落語を披露することで，たくさんの人を笑顔にすることができたか，笑いの力を届けることができたかについて振り返り，クラスで交流する。  ・ワークシートのルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。  ・ワークシートを提出し，教師の評価を受ける。 | ３  ７  ９  ４  ２  １ | ・江戸時代から人々に愛され，延々と続いてきた落語の魅力を感じとらせる。  ・自分たちが落語を演じ，地域の方々を笑顔にしていくことに意欲を持たせる。  ・この取り組みで身に付ける資質・能力について生徒と共有し，本単元の見通しを持たせる。  ・希望をもとに，生徒を３つのグループにわける。  ・上下の記入してある原稿とＣＤを配付する。  ★【感謝・貢献】  落語を覚え，多くの人の前で演じ，喜んでもらいたいと思うことができる。（ワークシート）  ★【情報収集・判断】  落語の特徴をつかんだ記述ができる。（振り返りシート）  ★【情報収集・判断】  　落語の細かい動作や話し方のコツを聞き取りから書き取ることができる。（ワークシート）  ★【知識・技能】  落語を覚えることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【協力・協働】  同じ演目の仲間と教えあうことで，落語を覚えることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【思考・表現】  しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。（行動観察・振り返りシート）  ・文章を掲示用に拡大したものを準備する。  ・各グループで直接指導の順番を決めておく。（覚えている順）  ・ビデオやCDをもとに，演じ方の工夫を分析し，暗記に生かす。  ・配慮を要する生徒への支援を学年教員で組織的に行う。  ★【情報収集・判断】  落語の細かい動作や話し方のコツについてメモを取ることができる。（ワークシート）  ★【思考・表現】  しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。（行動観察・振り返りシート）  ★【協力・協働】  教師や落語家からの助言を求め，よりよい落語にすることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【思考・表現】  しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。（行動観察・振り返りシート）  ★【協力・協働】  落語家からの助言をもとに，仲間どうしでアドバイスし合うことで，よりよい落語に高め合うことができる。（振り返りシート）  ★【協力・協働】  お互いが刺激して高めあい，表現力を豊かにすることができる。（行動観察）  ★【情報収集・判断】  落語を見たり聞いたりして，笑いのポイントを選び出すことができる。（ワークシート）  ★【協力・協働】  落語家からの助言を求め，よりよい落語にすることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【思考・表現】  落語の技を自分のものにして，上手に演じることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【思考・表現】  落語の技を自分のものにして，上手に演じることができる。（相互評価・振り返りシート  ★【挑戦・探究】  落語を披露して，落語の楽しさや魅力を伝えることができる。（振り返りシート）  ・配慮を要する生徒への支援を学年教員で組織的に行う。  ★【協力・協働】  お互いが刺激して高めあい，表現力を豊かすることができる。（行動観察）  ★【思考・表現】  披露する相手に応じて，面白さがより伝わるものになるような表現の工夫ができる。（ワークシート）  ★【思考・表現】  相手に応じた表現の工夫ができる。（行動観察・ワークシート）  ★【責任・使命】  発表に向け，自分に与えられた役割を考え，するべきことを行うことができる。（振り返りシート）  ★【感謝・貢献】  落語を通して，聞いてくれる人を笑顔にできる。（振り返りシート）  ★【責任・使命】  落語の良さを大切にすることができる。（振り返りシート）  ・ルーブリックの項目の自己評価に行い，自己の資質・能力の成長を確認させる。  ・教師の評価はワークシートと発表をもとに学年団で行い，肯定的なコメントもつける。 |

**６　本時の学習（１時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　本単元の見通しを持ち，この取組で身に付ける資質・能力を知り，挑戦問題に取り組む意欲を持つ。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　課題意識を持つ**  ・笑いにはどんな力はあるかを発表しあう。  ・笑福亭鶴笑さんの活動を紹介し，落語の力・笑いの力の素晴らしさを知る。  **＜挑戦問題の提示＞**  **挑戦問題「たくさんの人を笑顔にできる**  **新しい自分づくりに挑戦しよう！」**  **２　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ１「落語の魅力を知ろう！」**  ・今後の取り組みの流れを理解する。  ・ワークシートのルーブリックをみて，この取組で身に付ける資質・能力を理解する。  **＜課題の設定＞**  **「時そば」「化け物使い」「長短」の中から**  **どの演目で挑戦するかを決めよう！**  ・落語を身に付けるために，どんなことが必要かを話し合い，解決しなければいけない課題を考え，その解決に向けて見通しを持つ。  **４　本時の振り返りをする。**  ・ワークシートに初発の感想を書く。  **５　予習課題を確認する。** | ・笑ったら楽しくなる，元気になる等の自分の経験によるものだけでなく，科学的根拠のある力があることも伝え，笑いの力のすごさを確認する。  ・ワークシートで笑福亭鶴笑さんの笑いの力で世界を平和にする取り組みを紹介する。  ・ルーブリックを提示し，この単元で身に付ける，資質・能力★①②③④⑤⑥の基準を伝え，見通しと学習意欲を持たせる。  ・それぞれの演目の特徴を簡単に説明する。  【時そば】そばを食べる演技  【化け物使い】場面の様子が伝わる話し方  【長短】登場人物の演じ分け・顔芸  ・３つの中で演じたい演目順を考えておく。 | ★【感謝・貢献】  落語を覚え，多くの人の前で演じ，喜んでもらいたいと思うことができる。（ワークシート） |

**７　本時の学習（２・３時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　「広南寄席」で本物の落語に出会い，落語の魅力を感じる。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ１「落語の魅力を知ろう！」**  **・落語鑑賞をする。**  **「蛇含草」**  **「道具屋」**  **「犬の目」**  **「つる」**  **「ぼやき酒屋」**  **２　初発の感想を書く。**  **３　予習課題を確認する。** | ・いろいろな落語について深く学ぶための  「広南寄席」を用意していることを知らせる。  生徒の感想例  ・初めてきいた落語だけど，「蛇含草」はおもしろい話だったなぁ。  ・ひとりで何役もして大変そうだなぁ  ・「つる」を演じた先輩はすごいなぁ  ・興味をもって，落語を鑑賞させる。  ◆興味を示さない生徒がいたら，きちんと見るよう指導する。  ・「広南寄席」の落語の感想を書く。  ・落語の魅力とはどんなところか具体的に  書く。  　生徒の感想例  　・手ぬぐいや扇子を使った表現が面白かった。  　・登場人物を演じ分け，目の前に相手がいるかのように話しているところがすごかった。  ・広南寄席は面白かった。でもコントはテレビで馴染みがあるが，落語は着物を着ていて何か古臭いイメージがあるなあ。    ・自分たちも落語にチャレンジすることを知り，意欲を高める。  ・ジャンボ衣笠さんに質問したいことや教えてもらいたいことを考えておくことを伝える。 | ★【情報収集・判断】  落語の特徴をつかんだ記述ができる。（振り返りシート） |

**８　本時の学習（４時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　古典落語の決まり事を知り，日本の伝統芸能に魅力をもつ。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **1　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ２「落語の技を学ぼう！」**  **２　ジャンボ衣笠さんの講話を聞く**  ・ジャンボ衣笠さんに落語を  上達するためにはどうすれ  ばよいかを教えて頂く。  ＜落語を上達する道＞  ①覚える  ②大きな声で話す  ③登場人物になりきって演じる  ④上下を付ける  ⑤目線（遠近、目力）  **３　演目の解説を受ける**  ・生徒がこれから取り組む演目について，プロの落語家がダイジェスト版で演じてくれたものを参考に，今後の見通しを持つ。  **４　本時の振り返りをする。**  **５　演目の希望を取る。**  ・「時そば」「長短」「化け物使い」の３つから自分の演じたい演目の順番を記入する。  **６　予習課題を確認する。** | ・演目をビデオに撮っておく。  ・メモを取りながら話を聞き，後でポイントを整理できるようにしておく。  ・講話を聞いて，もっと知りたいことやわからなかったことを質問する。  ◆メモを取らない生徒がいたら，講話のポイントを解説して書き取らせる。  生徒のメモ例  【時そば】  ・そばのすすり方，扇子の使い方がポイント  【化け物使い】  ・主人の長セリフや見えないものを見えるように話すことがポイント  【長短】  ・対称的な性格の２人の演じ分けや顔芸，扇子の使い方がポイント  ・江戸時代から人々に愛され，延々と続いてきた落語の魅力を感じとらせる。  ・自分たちが落語を演じ，地域の方々を笑顔にしていくことに意欲を持たせる。  生徒の感想例  ・自分に本当にできるのだろうか。  ・人前で演じるなんて恥ずかしいなぁ。  ・おもしろそう。早くやりたい！  ・演目が決定次第，公演が収録されたCDと原稿を配布することを伝える。  ・My扇子，My手ぬぐいを準備するように指示する。 | ★【情報収集・判断】  落語の細かい動作や話し方のコツを聞き取りからメモを取ることができる。（ワークシート） |

**９　本時の学習（５～１０時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　落語を覚え，仲間と協力し合いながら，大まかに演じることができるようになる。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  ・今後の流れを確認し，次回，直接落語家の指導を受けるまでにすべきことを確認する。  **めあて　ＳＴＥＰ２「落語の技を学ぼう！」**  **２　今日の個人目標を決める**  ・自分がこれまでにできていることとまだできていないことを確認し，これからの１時間で頑張ることを決める。  **３　各グループで練習する**  ・グループに分かれ，協力して練習を進める。  **４　本時の振り返りをする。**  **５　予習課題を確認する**  ・授業書の振り返りのページに本時の自分の取り組みについて振り返って記入する。 | ・文化活動発表会までの日程や発表の場など具体的な流れを再度確認する。  ・扇子・手ぬぐいなど持参物を確認する。  ◆まずは文章をしっかり覚えることが大切なので，自分のできていること以上の目標にならないように確認する。  ・しっかり覚えられたら，上・下を付けたり，役割演技や仕草に挑戦する。  ・３つの教室に分かれ，グループごとに練習する。  ・グループごとに座布団と張り出し用の文章を準備し，文章には全体で確認することをかき込んでいく。  ・ビデオやCDをもとに，演じ方の工夫を分析し，暗記に生かす。  ・次回の授業までに自分が取り組むことを  考えさせ，それが予習課題となることを伝える。  ・１１時間目は，落語家に質問したいことや教えてもらいたいことを整理させる。  ・各グループで直接指導の順番を決めておく。（覚えている順） | ★【知識・技能】  落語を覚えることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【協力・協働】  同じ演目の仲間と教えあうことで，落語を覚えることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【思考・表現】  しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。（行動観察・振り返りシート） |

**１０　本時の学習（１１・１２時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　落語特有の細かい動作や話し方の技を取り入れて演じ，落語家からの助言を求め，よりよい落語にしようとする。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ３「落語の技を磨きあおう！」**  **２　グループに分かれ，指導を受ける**  【時そば】  ・そばをすする様子や，どんぶりを持ち上げる仕草のコツについて指導を受ける。  【化け物使い】  ・早口でも棒読みでもよいので，最後まで話を覚えて構成をつかむよう指導を受ける。  ・視線と表情で，化け物を演じ分けるよう指導を受ける。  【長短】  ・気の長い人が見せる，ゆったりとした饅頭の食べ方や，こぼした粉を拾って口へ運ぶ仕草などの動作について指導を受ける。  **３　本時の振り返りをする。**  **４　予習課題を確認する。** | ・仲間が落語家の指導を受けている姿を見ることも勉強になるので，自分が指導を受けるとき以外の時間もしっかり指導を見る。  ◆自分が指導を受けるとき以外はメモをしっかりとって，ポイントを聞き逃さないよう指導する。  ・登場人物の演じ分けには，上・下以外に具体的にどのような方法があるかを模範演技や演技指導で学びとる。  ・グループで練習したときの疑問点や教えて欲しかったことなど質問する。  ・指導の様子を撮影して録画しておき，後の個人練習で活用できるようにしておく。  生徒の振り返り例  ・長い文章だけど，しっかり覚えて演じるぞ。  ・自分で工夫したところを「上手い！」といって褒めてくれたので，とても嬉しかった。  ・今日指導していただいたことを生かし，たくさんの人を笑わせることができるように頑張りたい。  ・演技指導を受けた内容を個人の文章に記入してくる。 | ★【情報収集・判断】  落語の細かい動作や話し方のコツについてメモを取ることができる。（ワークシート）  ★【思考・表現】  しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。（行動観察・振り返りシート）  ★【協力・協働】  教師や落語家からの助言を求め，よりよい落語にすることができる。（行動観察・振り返りシート） |

**１１　本時の学習（１３・１４時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　前時に指導を受けた落語家の助言を模造紙に書き込み，演目ごとに演技のポイントを共有する。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ３「落語の技を磨きあおう！」**  ・演技指導を受けたときのポイ  ントや注意することなどを模造紙に書き込む。  **２　今日の個人目標を決める**  ・模造紙に書き込んだことを見て，これからの１時間で自分が頑張ることを決める。  **３　グループで練習する**  ・個人目標を達成できるように，互いに協力して練習を進める。  **４　本時の振り返りをする。**  **５　予習課題を確認する**  ・授業書の振り返りのページに本時の自分の取り組みについて振り返って記入する。 | ・自分の文章に書きこんできたことを発表し，演じる上でのポイントや注意事項を共有する。  ・自分ができそうなことやこれから練習をする必要があることを各自確認する。  ・今日は視線の使い方に気を付けて練習するぞ。  ・今日は美味しそうにそばを食べる仕草を完璧にするぞ。  ・３つの教室に分かれ，グループごとに練習する。  ・受けた指導をもとに，自分で工夫したり，仲間と一緒により笑ってもらえるための技を考えたり，アドバイスし合って技を磨いていく。  ・新しい発見や際立った技の工夫があれば，教師がグループ全体に紹介する。  ・掲示用の文章にどんどん書きこんで深めていく。  ◆撮影して録画しておいた落語家の演技を見返し，個人練習で活用する。  ・次回の授業までに自分が取り組むことを  考えさせ，それが予習課題となることを伝える。 | ★【思考・表現】  しっかり考えて，笑いのポイントを自分のものにして表現できる。（行動観察・振り返りシート）  ★【協力・協働】  落語家からの助言をもとに，仲間どうしでアドバイスし合うことで，よりよい落語に高め合うことができる。（振り返りシート） |

**１２　本時の学習（１５時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　落語の面白さが伝わる身振りや口調を工夫し，仲間同士で演技の質を高め合う。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ３　「落語の技を磨きあおう！」**  **２　見本を見て面白さが伝わるための技を考える**  **３　グループに分かれ，自分の演目のどの部分を対比させて演じたらたらよいか考え，今日の目標を決める**  ・３箇所（教室・被服室・生徒会室）に分かれて練習をする。  **４　各グループで練習する**  ・お互いがアドバイスをし，目標を達成できるよう，協力して練習を進める。  **５　本時の振り返りをする。**  **６　予習課題を確認する**  ・授業書の振り返りのページに本時の自分の取り組みについて振り返って記入する。 | ・対比するものを大げさに演じ分けること，面白さが生まれることに気づかせる。  ・生徒にやってみようという意欲付けをする。  ルーブリックを活用して，この時間で身に付けるべき資質・能力についておさえる。  ・自分たちの演目はどこを「対比」させることによってより楽しくなるか考えさせる。  ◆自分ができそうなことやこれから練習をする必要があることを確認させる。  ・自分で工夫をしたり，仲間と一緒により笑ってもらえるための技を考えたり，アドバイスをし合って技を磨かせる。  ・「時そば」（教室）は，演目の前半と後半で異なるそばの食べ方について練習させる。  ・「化け物使い」（生徒会室）は，演目の後半に焦点化して「見えないものをあたかも見えているかのように話す」技につて練習させる。  ・「長短」（被服室）は，饅頭の食べ方や扇子を使った技について練習させる。  ・新しい発見や際立った技の工夫があれば，教師がグループ全体に紹介する。  ・友達のまねをしてもっと上手になりたい  ・上手に伝えるためには「対比」する大げさな演技が必要だ。  ・工夫して台詞を言うだけでなく，表情や視線も大事だ。  ・次回の授業までに自分が取り組むことを  考えさせ，それが予習課題となることを伝える。 | ★思考・表現  ★協力・協働  ★【協力・協働】  お互いが刺激して高めあい，表現力を豊かにすることができる。（行動観察）  ★【情報収集・判断】  落語を見たり聞いたりして，笑いのポイントを選び出すことができる。（ワークシート） |

※

は，「資質・能力」を生徒と共有する場面

**１３　本時の学習（１６・１７時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　落語家の方に演技指導をしていただき，個人練習してきた落語についてさらに面白さが伝わるように技を磨く。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ３「落語の技を磨きあおう！」**  **２　グループに分かれ，指導を受ける**  【時そば】  ・銭を払うときの動作や上・下をつけた細かなやりとりについて指導を受ける。  【化け物使い】  ・的を使って視線の位置を具体手な指導を受ける。  ・台詞を言うとき，主人なら胸を張って偉そうに，奉公人なら背中を丸めながら話すなど，登場人物によって使い分けるよう，指導を受ける。  【長短】  ・扇子を使ったキセルの仕草のときの，煙を上においかけるような視線の動かし方や，大きな口を開けると間が抜けて見えるようになるなど，役づくりで重要なポイントについて具体的な指導を受ける。  **３　本時の振り返りをする。**  **４　予習課題を確認する。** | ◆覚えきれていない生徒には，口添えをしながら演じきらせる。  ・役割によって異なる所作について学習させる。  ・性格を表す語尾の使い方に着目して，役の演じ方について学習させる。  ・所作や語り口で重要なポイントについて具体的な所作を学習させる。  生徒の振り返り例  ・まだ覚えきれていない部分があるのでしっかり覚えるぞ！  ・扇子をキセルのように見せる演じ方が落語図鑑にあったので，もう一度読み返してみたい。  ・演技指導を受けた内容を個人の文章に記入してくる。 | ★【協力・協働】  落語家からの助言を求め，よりよい落語にすることができる。（行動観察・振り返りシート）  ★【思考・表現】  落語の技を自分のものにして，上手に演じることができる。（行動観察・振り返りシート） |

**１４　本時の学習（１８・１９時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　これまでの練習の成果を発揮して，落語を披露しあい，相互評価をする中で，各演目の代表者を選抜する。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ３「落語の技を磨きあおう！」**    **２　演目ごとにグループ分けをし，発表をする。**  **・これまでの練習の成果を精一杯発表する。**  **・お互いの発表を評価しあい，もっと良いものをつくり上げていこうとする。**  ・【時そば】→【長短】→【化け物使い】の順に演技をさせる。  **３　本時の振り返りをする。**  ・各グループの中で演技が最も素晴らしかったと思う３人を選ぶ。  ・自分の演技を振り返り自己評価をする。  **４　「落語に挑戦！」の単元のここまでの取り組みの振り返りをする。**  **５　予習課題を確認する。**  ・広南劇場を盛り上げりための法を考え，出し物の用意をしてくること。 | 【評価方法並びに評価項目】  ・演者ひとりひとりを「声の大きさ」，「役割演技・セリフの工夫」，「表情・身振り手振り」，「小道具の使い方」の４項目について「◎よくできている！」，「○頑張っているけどもう少し！」，「△もっと頑張って！」の３段階基準で評価し，「一言メッセージ」欄に自由記述でコメントを記入させる。  ◆覚えきれていない生徒には，口添えをしながら演じきらせる。  ・演目ごとに推薦者名と推薦理由を記述させる。  【評価基準】  S：登場人物を上下や動作によって上手に面白おかしく演じ分け，大きな声ではっきり堂々と演じていた。  A：登場人物を上・下や動作によって演じ分け，大きな声ではっきりと演じていた。  B：登場人物を上・下や動作によって演じ分け，動作をつけて演じていた。  C：上・下をつけた演技でストーリーが伝わってきた。  D：ストーリーが伝わらなかった。  生徒の振り返り例  ・みんなが笑ってくれた。自分の殻を破ることができたぞ。  ・みんな意外によく頑張っていたなぁ。もっと練習しておけばよかった。  ・いきなり落語を演じるのではなく，場を盛り上げる（会場を温める）ことの必要性をおさえる。 | ★【思考・表現】  落語の技を自分のものにして，上手に演じることができる。（相互評価・振り返りシート）  ★【挑戦・探究】  落語を披露して，落語の楽しさや魅力を伝えることができる。（振り返りシート） |

**１５　本時の学習（２０・２１時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　広南劇場で各演目を披露する代表者は落語の技を磨き，それ以外の生徒は広南劇場を盛り上げるための幕間の出し物や役割分担を決める。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ４「人を楽しませる新しい自分になって広南劇場で貢献しよう！」**  **２　代表者はさらに練習を積み，より楽しい落語になるように技を練る。**  ・【時そば】【長短】【化け物使い】の順に練習をする。  ・実際にステージでどう演じるか，着物を着ての所作（めくり・座布団）の指導を受ける。  **３　代表者以外の生徒は広南劇場を笑いの力で盛り上げるための幕間の出し物を考える。**  ・予習課題で準備してきた出し物を披露しあう。  ・披露する相手に応じて，面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えさせる。  **４　幕間の出し物用に「手品」「カップソング」「もくりんダンス」の３つのグループに分かれ、小道具など必要なものを書き出し，計画を立てる。**  ・グループに分かれ，リーダーを選出する。  ・グループで練習をする。  **５　本時の振り返りをする。** | ルーブリックを活用して，この時間で身に付けるべき資質・能力についておさえ，よりレベルの高い目標を意識させる。  ・衣装の着付けは，教職員が担当する。  ・落語家に演技指導していただき，疑問点やさらに教えて欲しいことなどを質問させ，技の向上に生かすよう助言する。  ・本物の寄席みたいな雰囲気になってきて気合いが入るぞ！  ・落語で大勢の人を笑わせてやるぞ。  ・ステージ上で見栄えがする芸か，客観的にとらえ，工夫・改善を考えさせる。  ◆「仲間受け」だけの出し物を考えている生徒には，誰に対して発表するのかを考えさせ，客観性をもつよう指導する  ・コインを使った手品では，会場全体へは伝わりにくいので，もっと動作の大きな手品を用意しなくてはいけないなあ。  ・カップソングで歌う曲は，最近のヒット曲だと保護者や地域の人にはわかってもらえないなあ。  ・考えたこと，工夫・改善したこと，また今後の取り組みや披露の場への意気込みなどを記入するようにさせる。 | ★協力・協働  ★【協力・協働】  お互いが刺激して高めあい，表現力を豊かにすることができる。（行動観察） |

※

は，「資質・能力」を生徒と共有する場面

**１６　本時の学習（２２・２３時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　広南劇場で落語を披露する生徒は落語の技を磨き，それ以外の生徒は幕間の出し物の練習や，会場全体を盛り上げるためにできることを考える。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ４「人を楽しませる新しい自分になって広南劇場で貢献しよう！」**  **２　落語の代表者はさらに練習を積み，より楽しい落語になるように技を練る。**  **３　落語の代表者以外の生徒は広南劇場を笑いの力で盛り上げるための幕間の出し物を練習する。**  【手品】  ・大きな舞台で発表する手品をよりひきたたせるためにどんなことをしたらよいか考える。  【ダンス】  ・上級生からダンスを習い，自分たちの発表だけで無く，上級生の発表も盛り上げることを考える。  【カップソング】  ・観客の年齢層を考えた選曲を考える。  **４　広南劇場の舞台づくりのリハーサルを行う。**  ・落語用の高座や幕間の演技に必要な道具の出し入れを確認する。  ・「よっ！○○」などの声かけや拍手が会場を盛り上げることに気づく。  **５　本時の振り返りをする。** | ・衣装の着付けは，教職員が担当する。  ・落語家に演技指導していただき，最終チェックをして，技の向上に努める。  【手品】  ・司会者を立て，実況中継風にアナウンスや解説を入れ，今なにが行われているのかを周囲に知らせるなど，手品をひきたたせる方法を考えさせる。  【ダンス】  ・上級生が発泡スチロールで作製した「もくりんくん人形」の頭部をかぶり，会場全体を盛り上げるような振り付けを工夫させる。  【カップソング】  ・大きな声で歌を歌い，しっかりと練習した技を披露することで会場を盛り上げるよう指導する。  ◆小グループをつくり，恥ずかしがって声かけができない生徒も大きな声が出せるよう指導する。  ・本時の学習で気づいたこと，考えたことを記入する。  生徒の振り返り例  ・テレビのコント番組でも，笑い声や御囃子が入ることで盛り上がっているような気がする。これは演出的に笑うための準備ができているということなのだろうか？ | ★【思考・表現】  披露する相手に応じて，面白さがより伝わるものになるような表現の工夫ができる。（ワークシート） |

**１７　本時の学習（２４・２５時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　披露する相手に応じて，落語の面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考える。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ５「出前落語に挑戦しよう！」**  **２　落語を披露する場面を決定する。**  ・ふれあいサロン長浜（3名）・ふれあいサロン小坪（3名）・広南小学校（8名）でそれぞれ落語を披露することを知る。  **３　各場での公演計画を立てる。**  ・披露する相手に応じて，落語の面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えさせる。  ・高座名を発表する。  ・演者以外の役割分担をする。  ・会場ごとにリハーサルをする。  **４　本時の振り返りをする。** | ・今までの学習を振り返り，今一度，落語の技を磨き披露に備えるよう指示する。  ・特に登場人物の演じ分けには，上下以外に具体的にどのような方法があるかを想起させる。  ・披露する相手が高齢者の場合と小学生の場合では気を付けることが異なることに気付かせ，そこから相手に応じての表現の工夫を考えさせる。  ・各場にふさわしい高座名を与え，落語の始めの言葉を考えさせる。  ・各場において，演者以外は，めくり・CD・小道具などの役割分担をしてそれぞれの会が成功するようにサポートさせる。  ◆自分の役割を自覚させる。  ・考えたこと，友だちの新しい面を発見したこと，また今後の取り組みや披露の場への意気込みなどを記入するようにさせる。  ・さあ，披露のラストチャンスだ！しっかり練習して人を笑わせるぞ！ | ★【思考・表現】  相手に応じた表現の工夫ができる。（行動観察・ワークシート）  ★【責任・使命】  発表に向け，自分に与えられた役割を考え，するべきことを行うことができる。（振り返りシート） |

**１７　本時の学習（２６時間目／全２６時間）**

（１） 本時の目標　落語を披露することで，たくさんの人を笑顔にすることができたか，笑いの力を届けることができたかについて振り返り，ワークシートのルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。

（２） 学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）  配慮を要する生徒への支援（◆）  予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準  資質・能力（★）  （評価方法） |
| **１　本時のめあてを確認する**  **めあて　ＳＴＥＰ５「出前落語に挑戦しよう！」**  **２　各自，落語を披露することで，たくさんの人を笑顔にすることができたか，笑いの力を届けることができたかについて振り返り，クラスで交流する。**  **３　ワークシートのルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。**  **４　６つの資質・能力を評価した内容について，具体的に記述する。**  **５　ワークシートを提出し，教師の評価を受ける。** | ・交流をする。  ・長い話だったけど，しっかり覚えて演じることができた。  ・地域のお年寄りの方に笑ってもらうことができた。  ・ふれあいサロンでおばあちゃんが見せてくれた笑顔が嬉しかった。  ・ルーブリックの項目の自己評価に行い，自己の資質・能力の成長を確認させる。  ◆自分への評価が厳しい生徒には，肯定的な面があったことを知らせる。  ・自分が成長したと思うこと，課題だと思うことなどを記入させる。  生徒の振り返り例  ・人に笑ってもらうことがこんなに大変なことだとは思わなかった。  ・最初はとても恥ずかしくて，いい演技ができなかったけど，自分が恥ずかしがっているだけでは，人は笑ってくれないことがよく分かった。  ・自分の殻を破ることができた！  ・教師の評価はワークシートと発表をもとに学年団で行い，肯定的なコメントもつける。 | ★【感謝・貢献】  落語を通して，聞いてくれる人を笑顔にできる。（振り返りシート）  ★【責任・使命】  落語の良さを大切にすることができる。（振り返りシート） |